



遠藤 隆
えんどう たかし

議員

豪雨時における避難情報の啓発について

問 豪雨による避難情報の体系が見直されたが、市民が適切なタイミングで避難するためには、災害時サポートガイドの活用とマイ・タイムラインを再度作成することが、防災行動計画を啓発するために重要だと思うが、市の考えは。

答 コロナの警戒レベルが感染拡大警報から注意報に引き下げられたことを受け、出前講座の実施に向けた準備を進めており、ハザードマップを含めた災害時サポートガイドの積極的な活用を各種団体に呼びかけている。また、防災士ネットワー

クさばえの協力を得て、最新のハザードマップを基に、地区、町内会、町内単位での防災マップづくりに取り組んでおり、地域の災害リスクの把握、地域の決め事、避難時の情報の入手方法等をマップに掲載し、地域住民の安全な避難に備えていく。今後も、市民が自分の命は自分で守る意識を高めるため、ホームページや広報紙のほか、高齢者サロンや防災出前講座などを通じて、しっかりと啓発に努めていきたい。



自分の命は自分で守るための備えを



志清同友会
はやしした たかし
林下 豊彦
とよひこ
議員

神明苑について

問 神明苑閉苑反対の署名については、どのように受け止めているか。

答 市長 厳粛に受け止めている。公共施設全体の計画等について、しっかりと説明責任を果たし、理解をいただきながら、施設の様々な在り方についての方向性を早めに示していきたい。

意見 神明苑やほかの施設についても、長期のビジョンをしっかりと伝え、市民に寄り添い、対話をしながら取り組んでいただくことを、強く要望する。

ブランド戦略について

問 シティプロモーションの新たなブランド戦略の一つとして、「体操のまちさばえ」を取り入れたらどうか。

答 1995年の世界体操鯖江大会は、今でも体操関係者に語り継がれる大会であり、「体操のまちさばえ」については、既にシティプロモーションとして、大きな成果が出ている。今後も体操をはじめとして、子どもたちや若者が世界に挑戦できるまちとして、選ばれるまちになるよう取り組んでいきたい。



世界に挑戦できるまちに



志清同友会
えはた たかし
江端 一高
かずたか
議員

市民プールの在り方について

問 市民プール検討委員会の検討内容と結果はどのようなものか。

答 教育長 検討委員会では、25メートルプールと幼児用プールを全面改修すること、50メートルプールを廃止し、そのスペースを活用して、多目的コートと駐車場を整備することの2つの方向性を取りまとめた。

また、整備案としては屋内温水プールと屋外プールの2つが示されており、年度内には市民プールの整備方針を決定していく。



市民プールの方向性は

ごみ削減に関する持続可能な体制について

問 本年4月1日より、燃やすごみ収集袋へ記名する取組が開始されたが、削減効果はどの程度出ているのか。

答 昨年同月と比較して、燃やすごみの量は、本年4月はマイナス26%、5月はマイナス13%となったが、資源物の量は、色トレー・その他プラスチック製容器包装は、4月はプラス92%、5月はプラス125%となるなど、大幅に増加した。

問 資源ごみの回収コンテナ等を分かりやすく色分けする、各地区に常設の回収場所を設置する等を検討してはどうか。

答 持続可能なごみ処理体制の構築に向けて、あらゆる角度から効果的な施策を検討し、実行に移していく。